

1月5日は「年玉おやき」の日

信州おやきの歴史

「おやき」には、節目の食として愛されてきた歴史があります。「年玉おやき」は、その中でも代表的な行事。「今年も丸くおさまるように」と願いを込めて、正月の朝、おやきを作って食しました。長野商工会議所 信州おやきブランド化委員会と信州おやき協議会では、信州の大切な習慣を復活させたいと願っております。

年玉おやきのお作法

その壱

毎年1月5日を「年玉おやきの日」と制定します。寒の入りとされる小寒の頃、心身ともに温かくなることができる「おやき」を食します。
(1月5日のうちに家族や仲間と卓を囲んで食すと御利益があります)

その弐

「新年の扉を開く」という意味があります。新年への願いを込めて、両手で静かに「信州おやき」を開いてください。
(このとき、しゃべらないこと。御利益がなくなってしまいます)

その参

家族や仲間全員が「丸くおさまるように」と願いながら、満面の笑顔でひとくち食してください。
(このとき、どんな状況でもニコリ笑い合ってみること)

その四

ひとくち食べ終わったあとは、だんらんを楽しんでください。